



12月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第433号



中 田 小

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

平成28年11月30日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



『冬の星座』

文部省唱歌

作詞：堀内敬三 作曲：～イズ

木枯らしとだえて  
さゆる空より  
地上に降りしく  
奇（くす）しき光よ  
ものみな憩える  
しじまのなかに  
きらめき揺れつつ  
星座はめぐる

ほのぼの明かりて  
流るる銀河  
オリオン舞い立ち  
スバルはさざめく  
無窮をゆびさす  
北斗の針と  
きらめき揺れつつ  
星座はめぐる



虹色のランドセル

校長 蒲谷 猛

校庭の木々が美しい秋の色に変わっています。一番色づきの遅かった銀杏もすっかり黄金色に輝いていて、その足下にも金モザイクのじゅうたんが敷かれています。徒然草「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは～」ではありませんが、紅葉も盛りを過ぎてはらはらと落ち葉が舞う景色が、また美しいものです。先週は思いがけず数十年ぶりに11月の降雪がありましたから、白い雪のベールに覆われた紅葉もとてもすてきでした。

街の中を見ても、運動会が終わったころはオレンジと紫と黒が彩っていましたが、それが今は赤と緑と白に変わり、あとひと月もすると、赤と白と金へと変わってきます。最近、自然以外の色の変化からも季節を感じられようになりました。

私が子どものころは、テレビは白黒。今は、テレビはもちろん、パソコンでも携帯でもゲーム機でも色の鮮明さを競っています。昔は病院の建物内はほぼ白いものでしたが、最近の病院は白い壁や白いカーテンはまず見ません。新聞にカラー記事が入ってもうだいぶ立ちました。子どもたちを取り巻く環境は、色彩の面から見ても、相当豊かになっています。折にふれて、それぞれの色の存在や美しさ、その価値を意識させることがなければ、子どもたちの感性を磨かれていかないだろうと、窓越しに銀杏を眺めながら考えました。

10年も前の話になりますが、長男が小学校に就学する前、祖父母に「ランドセルは何色がいい？」と聞かれ、「虹色。」と答えていました。最近、ランドセルの色も相当多様になってきていますが、もちろん虹色は存在しません。もし、実際に虹色のランドセルがあったら、それを背負って通学するわが子は周囲から何て声をかけられるのだろう、決して肯定的な声かけだけではないよな、などと考えてしまったことを今でも覚えています。

かつては、黒は男子、赤は女子、男子は青色で、女子はピンク色、と決めてしまうことが多くありました。これだけ多様になっている現在では、子どもたちの好みも様々です。水色を好む女子もたくさんいるし、今日の私のYシャツはピンク色です。人の好みは様々であり、それぞれの個性と感性で選んでいるのだから、みんな

ちがってみんないいのだという感じ方・考え方を本校の子どもたちにもしっかり指導していかなければなりません。

12月是人権月間です。この機会に、あらためて、人の好みを揶揄したり、自分の好みを言えなかったりする人間関係はないかどうか、ていねいに目と心を配っていきます。そして、子どもに語りかける私たち教職員の感性はどうなのか、ふりかえり高めていきます。各ご家庭、地域の皆様からいただく情報やご意見があって、細やかな見守りができ、より綿密な指導が展開できると考えています。あらためてご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。たいぶ早いですが、よいお年をお迎えください。